

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

広島県 三次市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.16	100.00	2,937

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
53,995	778.14	69.39
處理区域内人口(人)	處理区域面積(km <sup>2</sup> )	處理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,837	3.34	1,148.80

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成28年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

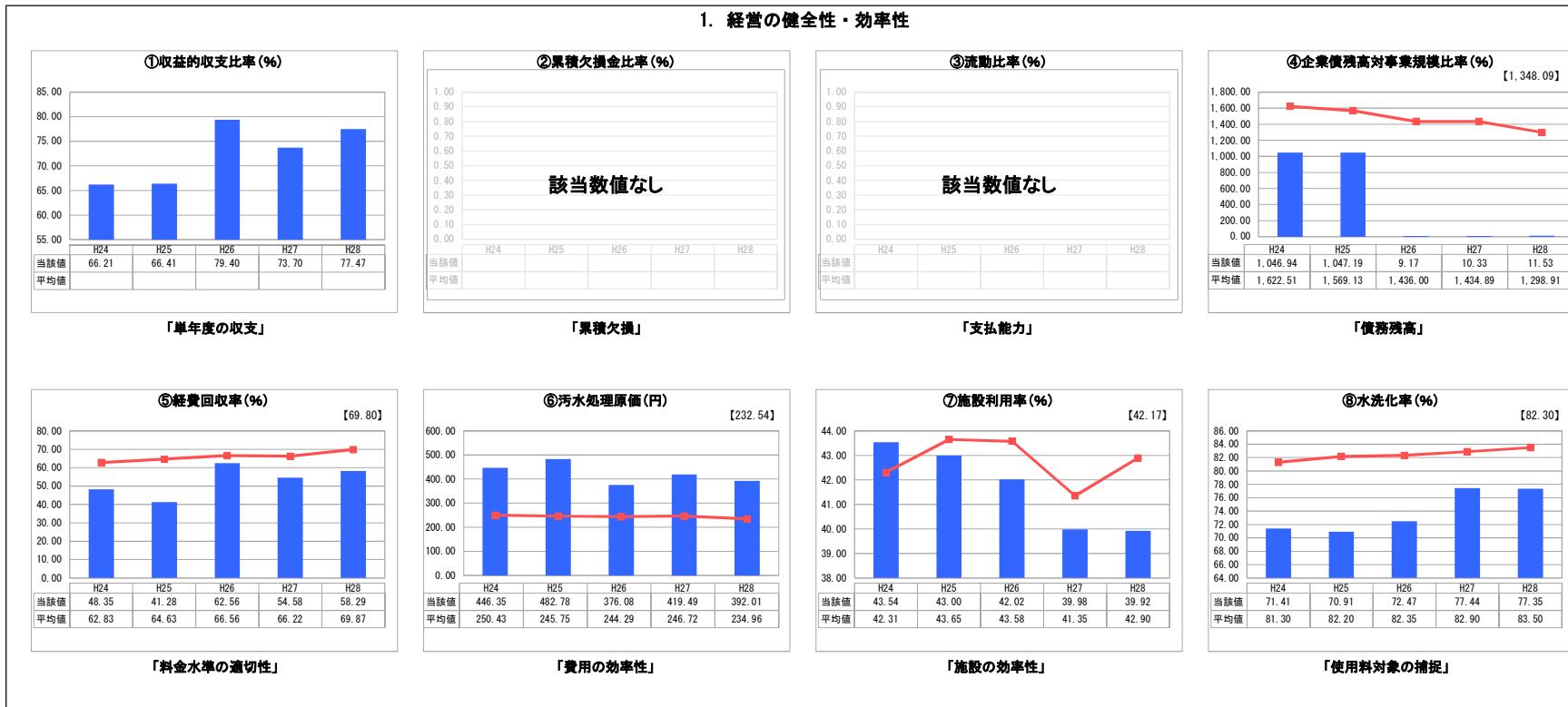
●収益的収支比率、企業債残高対事業規模比率  
平成28年度は、収益的収支比率が約7.7%程度であり、昨年度に比べ約3.8ポイント改善している。主な要因は、修繕工事費が減少したためである。企業債残高対事業規模比率は、企業債残高が減少するに伴い平均値を下回り改善傾向である。引き続き経営の健全化に努める。

●経費回収率、汚水処理原価  
平成28年度は、経費回収率が昨年度に比べ約3.7ポイント改善し、汚水処理原価は昨年度に比べ約5円改善している。主な要因は、汚水処理費が減少したためである。汚水処理原価が平均値より高い理由は、8市町村の合併により、現在6処理場を有しているためである。今後も、経常的経費の節減と適正な経費回収に努め、処理場の統廃合について検討する。

●施設利用率、水洗化率  
平成28年度の、施設利用率は昨年度並みである。水洗化率は接続人口・処理区内人口の減により昨年度に比べ微減であり、平均値を下回っている。今後も加入促進を行い、水洗化率向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

平成3年から下水道工事に着手し、平成6年から供用開始しているため、管渠の老朽管等の更新については、ストックマネジメント計画の導入により計画的更新に努める。



### 全体総括

8市町村の合併により、現在6処理場を有しているため、汚水処理原価が高く、経費回収率や施設利用率が平均値に比べ低い状況にある。

今後は、公営企業会計化へ向けて資産を整理し、施設効率の改善や料金体系の見直しを行なながら、処理場の統廃合も視野に入れ、計画的な事業展開に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。